

和

やわらぎ

SSKP

発行
全国脊髄損傷者連合会
神奈川県支部
〒246 横浜市瀬谷区上瀬谷町26-28
電話 045-922-6324

編集人
山崎 昇

ホームページ <http://www.maxhi-ho.ne.jp/yawaragi/>
メールアドレス yawaragi@max.hi-ho.ne.jp



太陽がまぶしいな マリーンルージュをバックにハイポーズ！

一九七七年十二月三日第三種郵便部認可
二〇〇五年一月九日発行(毎月十八回)・二・三・五・七の日発行
SSKP増刊通巻第二七五三号

白熱した討議でブロック会議 3
盛り上がる 支部長 山崎 昇
夕日と夜景の美しさを 4~5
堪能 女性部長 赤城 喜久代
元支部長荻野氏を偲ぶ 6~7
その斬新な企画は常に全国をリードする

すすむ駅舎のバリアフリー 8~9
事務局長 妻屋 明
今年も開催JAFとニッシン自動車の点検
・車いすでも社会に貢献 10
路川みどりさんのテレビ出演
・会員動向・編集後記 11



神奈川トヨタ 暮らし方上手をお手伝い 福祉・介護カーショップ

乗る人、乗り方、いろいろあります。
たのしいクルマ、いろいろ作ります。

神奈川トヨタ取扱いの福祉車両[ウエルキャブ]のワイドバリエーションはもちろん、
現在お乗りの車もメーカーを問わず、お客さまのご要望にあわせて改良いたします。



●ステアリングホイールノブ

●エリプター電動4輪車



介護・自立がテーマの高機能商品、
ご提案します。

たとえば段差昇降機や電動クルマ椅子など、
介護をする方にもされる方にも、便利で高機能
な商品を集めました。



いろいろな公的補助、
アドバイスやご提案します。

福祉車両のお求めや改良に際し、国や地方自治体
では各種貸付け・助成制度や優遇税制制度を
用意しています。助成条件のご案内はもちろん、
申し込み方法などお客さまと一緒に考えて参り
ます。

自分らしく日々を暮らすご相談、なんなりと。

スタッフは福祉車両改造のスペシャリストを始め、日本
チェアスキー協会会長・元日本障害者スポーツ協会理事
伊佐幸弘氏など、強力スタッフ陣がお待ちしております。



レジャー&スポーツの楽しみ方、
ご提案します。

グッドオープンエアズ・マイクスと連携、
初心者から楽しめるスポーツ&レジャーを
ご紹介。バスケットボールやチェアスキーは
当ショップのおすすめメニューです。



Welcab
PRIUS
ウエルキャブ
新登場



Photo: プリウスS 助手席回転スライドシート車
"Bタイプ"(車いすはオプション)



横浜市神奈川区栄町7-1 マイクスビル2F TEL:045(459)2112
営業時間/10:00~20:00 www.kanagawatoyota.com



TOYOTA

神奈川トヨタ

白熱した討議で ブロック会議 盛り上がる

第27回関東甲信ブロック会議 千葉県大会の報告

支部長 山崎 昇

平成十六年十月一日に千葉県の木更津市にある「かずさアカデミアホール」において開催されました。

木更津市長と木更津市議会議長も出席され、私たちには心強いご挨拶をいただきました。

会議は、各県支部の活動報告の後支部の要望事項と提案事項が示されました。

主な要望としては

1、支援費制度による「自己決定」「自己選択」によりサービスが拡充され、多くの障害者が支援費制度のサービスを受けられるようになったので、支援費制度と介護保険の統合が前提ではなく、支援費制度のより一層の充実を図ることを要望する。

2、バリアフリー法案の制定により公立学校や大学のバリアフリー化の推進は、就学中の病気や不慮の事故等により脊髄損傷になっても学業の継続を可能にするものであると同時に、災害時

における避難所としての役割も大きく、全ての公共施設のバリアフリー化と障害者用トイレの設置を要望する。

3、災害時における在宅重度障害者の支援・救済体制の確立を要望する。

4、宿泊施設・ホテルのハンディキャップルームや身障者用トイレの設置だけでなく、客室内においても車いすで出入りできる洗面所や浴室の設置を推進して欲しい。

5、障害者用駐車場について、健常者が駐車した場合罰金を取る制度を法的に確立して欲しい。

6、仕事における能力は十分にあるのに、車いす使用者だからといって雇ってもらえない。車いす使用者でも就職できる職場の開発をお願いしたい。

7、宿泊施設はガイドラインを作成して車いす使用者でも自由に利用できるような公的に助成金を出し、ユニバーサルデザイン化にするよう要望する。

8、新築建物及び付随する設備に対しては「ハートビル法」に基づき、国が四割、都道府県が四割、区市町村が二割の助成金を出しているが、既存建物の改築設備費用にも助成金制度を設けて欲しい。

そのほか全部で十九項目の要望がありました。

今後の関東ブロックの運営について以下のような取り決めがありました。

1) ブロックの運営費について

ブロック会長の活動経費は全額助成

することが決議された。また、平成十六年二月十五日から平成十六年九月五日までのブロック会長運営会計報告がなされた。

2) 関東甲信ブロック会規約改正について

本部が社団法人になったことによる名称変更、流動性を持たせるための文章変更などあり。また、本部定款にならって「団体加盟会員」という言葉を新たに付け加えたが、団体加盟会員とは誰のことを意味するのかわかりにくいので、次回ブロック会議(神奈川県大会)にて説明文を追加することです承された。

3) その他

現ブロック会長小林文彦氏は、次回ブロック会議までの任期とすることが承認された。

翌日は袖ヶ浦市にある百目木公園において、恒例のグラウンドゴルフ大会が開催され、年に一回の関東甲信地区の交流を深める大会となりました。

十七年度のブロック大会は神奈川県支部の担当となっております。

予定としては十月頃としておりますが、支部の皆様がたのご協力を頂き、実り多きブロック大会になりますよう役員一同頑張っていきたいと思っておりますので、支部の皆様がたのご参加をお願いします。



受付風景

最初の予定から一カ月遅れのサンセットクルーズであったが、その日は本当にお天気に恵まれ、太陽が赤く西に傾く頃、乗船が始まり真に「サンセッ

横浜協会主催

サンセットクルーズ

夕日と夜景の

美しさを堪能

女性部長 赤城 喜久代

トクルーズ」になりました。

山下公園の駐車場に車を置き、そこから公園内をぶらぶらと三〇四分も行くと、マリニルージュの船着場に着きます。集合時間にはだいぶ間がありました。皆さん三々五々と集まってきましたが、皆さん三々五々と集まってきました。まぶしい太陽の日差しを浴びながら、マリニルージュをバックに皆で集合写真を撮りいざ出発です。

桟橋からほとんど段差もなく車いすでスムーズに乗り込むことができました。

その日の食事はフランス料理で、スープから始まり前菜、メインディッシュ、デザートまで一時間半の間に食べてしまえるような割と軽めの量でした。車でなければワインやビールなどお酒も飲めますので、より食事が楽しくなることでしょう。食事を楽しみな



夕日に染まる富士山とベイブリッジ

がら、暮れなずむ横浜港を船は進みま

す。
横浜ベイブリッジのはるか彼方には富士山のシルエットがくっきりと浮かび上がり、まるで一服の絵を見ているようです。そしてハイライトはなんと言っても「みなとみらい21」地区でしょう。

赤や白・オレンジの灯りがきらきらと輝き、今や「ハマの夜景」の象徴でもあります。いつも高速を走りながらハンドル片手にチラッと眺めるのと



乗り込み風景

たまにはこういう風に、のんびりと船での食事や夜景を楽しむのもいいものです。またの企画を楽しみにしたいと思います。

は違い、ゆっくりと海からその美しい夜景を堪能でき至福の時間が流れていきます。

船の揺れもほとんど感じられず、一時間半のクルーズはあつという間に終わってしまいました。

一カ月伸びたのは、その日が元支部長の荻野さんのお葬式の日と重なったためでしたが、まるで荻野さんがお天気にでもしてくれたかのように、暑くも寒くもなく絶好のクルーズ日和でした。



お話に花が
咲きます



お食事は
満足
しましたか？

元支部長荻野氏を偲ぶ

その斬新な企画は常に全国をリードする



荻野さん長い間ご苦労さん

支部長 山崎 昇

今から二十三年前関東労災病院にあった支部と箱根療養所にあった支部がいつしよになった時からの付き合いでしたが、初代支部長、長谷山氏の後を受け継がれてから以降多大な功績を残されてきました。

支部会報の「和」発行にはじまり、医療セミナー、女性の集い等々があります。今では各県支部が会報を出していますが、まさに神奈川県支部はその魁となったものです。また、脊髄損傷者は医療に関する情報は必要不可欠で、最新の医療をいつも会員に提供したいと医療セミナー開催が始まりましたが、それは現在も継続されています。

女性の集いは、男性の性だけではなく女性の結婚・性についても話し合うべきだということが始まりました。このように荻野さんの活躍は全国に神奈川県支部の存在を知らしめました。

またまだこれからもお力を借りて脊損会をより立てて行く矢先に旅立たれ残念でなりません。私たちは荻野さんの意志を引き継ぎ頑張つてまいります。

頑固な荻野さんの思い出

副支部長 路川 十九夫

私が荻野さんに出会ったのは確か九年位前の頃だったと思います。連合会会長・神奈川県支部長と大変な任務を終え、相談役として活動されている頃でした。当時の私は全脊連に入会して日が浅く、そんな時県央協会長が長期の病氣療養中のため、活動できなくなり、やむを得ず引受ける羽目となり右も左もわからず戸惑っていました。支部の役員会議で再々会う機会が多くなり、穏やかな口調で時には助け舟を出してもらったりと尊敬する先輩でした。しかしお互い気心が解かり出すと何度か口論しましたね。

私も短気ですが荻野さんかなりの頑固者で、四十周年の横浜大会の時でしたが、忙しさの中で貴方も私も理性を失い激しく言い争いをしたのを覚えています。今となっては懐かしい思い出です。もう

喧嘩も出来ないと思うと淋しい気もします。

二年位前から体調を崩し入院を繰り返していましたが、荻野さんパワーで支部の役員会議にいつものダンディーなスタイルで、顔を出される事を待っていたのに残念ながら計報が届いてしまいました。

荻野さんのいなくなった神奈川県支部は気が抜けてしまったけれど、残った私たちが何とか頑張りますので安心してください。長い間本当にお疲れ様でした。ご冥福を心より祈ります。

楽しい時間をありがとう！

女性部長 赤城 喜久代

荻野さんと初めてお逢いしたのはもう十七年位前になるでしょうか。それ以来公私共に親しくさせて頂きました。時には人生の先輩としてアドバイスをいただいたり、またある時は父親のような優しさでいろいろなことを教えて下さいました。共に過ごした時間は本当に貴重な私の宝物です。よく旅行にも一緒にさせて頂きました。音楽・美術には特に造詣が深く、一緒に美術館巡りをするのも楽しく、旅行がより内容の濃い充実したものとなりました。日本語にはこだわりを持ち文章なども大変お上手でした。しかし、英語は年齢からして得意ではありませんでしたが、ボディ

ランゲージがお上手でした。その一つにこんなエピソードがあります。

イタリアのベネツィアでのことですが、あの町は運河だらけで橋が多く車いすにとつては大変なところでした。しかし、その大変なところでイタリア語も英語も使わず、身振り手振りでイタリア人に橋の階段のヘルプをお願いしてしまつたのです。今思い出してもあれは見事の一言につきますが、荻野さんにしかできない芸当かもしれません。

今は、この広い宇宙の小さな星の一つになり、地上の皆を眺めて笑っているのかもしれないですね。

私達もいずれ合流します。その時はまたワイワイやりましょう！

手元に残ったボールペン

文化部長 大井 知子

荻野さんは、いつでもとても素敵なジェントルマンで、パイプとカメラをお持ちになつていました。支部活動の時には愛用のカメラで、たくさんの写真を撮つて下さいました。また、その写真を焼き増してお手紙と一緒に送つて下さいました。私の手元には荻野さんから送っていただいた写真がたくさん残っています。

荻野さんに最後にお会いしたのは、総会

で文化部長に指名され初めての編集会議でした。私の不安を優しく取り除いて下さいました。その時文化部長に必要だからと2色入りのボールペンを、プレゼントしてくださいました。そして一緒に頑張りましょうと約束をしたのに……残念です。その後私も体調を崩し入院してしまいました。で、この時が最後となつてしまいました。ボールペンが形見となつてしまいました。が、これからはこのボールペンと共に「和」の編集をしていきます。見守っていてください。

ご冥福をお祈り申し上げます。合掌

「百万本のバラ」が今も耳に

湘南協会長 森田 久一

退院したら役員一同で食事をしよう、一日も早い回復をお祈りしてただけに、訃報の電話に驚きと悲しみで信じられなく、とても残念です。

あれは昭和六十年頃でした。神奈川県支部長をされている時、あの巧みな話術で役員に押され、いろいろ指導して頂きました。時々うるさい黄門様でしたが、行動的で全国どこへでも飛び回る姿には敬服しました。連合会を人一倍想い、多大な貢献、そして後輩を導いて下さり本当にありがとうございました。

会議にはお得意の黒のソフト帽子と赤いマフラー、時にパイプを咥え、コーヒーを飲む姿はカッコイイ親爺でした。宴会の席ではオハコの「百万本のバラ」を唄い自らの雰囲気盛り上げる姿勢には到底自分にはできない芸当だと感じました。

まだまだご指導頂きたかったのに誠に悔しい思いです。長い間本当にお疲れ様でした。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

帽子と赤いマフラー

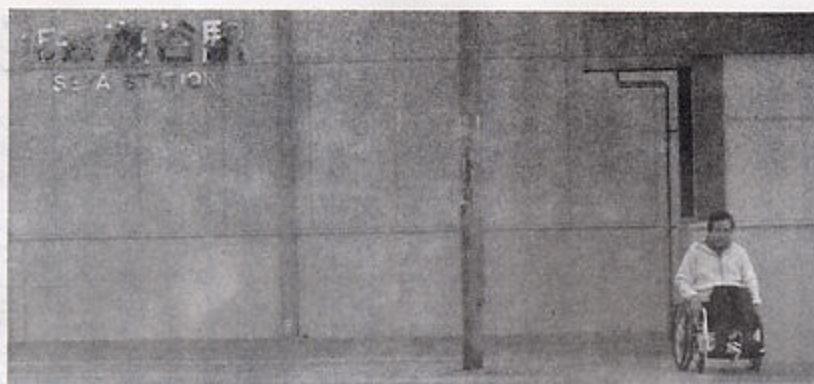
監査 杉山 光子

数年前にヨーロッパ旅行に一度一緒したときの事です。パリの街は段差や石畳の多い町で、私が悪戦苦闘しながら歩いているのを見かねて、近くを歩いている人に声をかけてサポーターをお願いしてくださった事や、美術館巡りをしたときは色々説明して頂いた事など数えればきりがありません。身だしなみがスマートで帽子と赤いマフラーがとても良くお似合いました。また支部役員会でお会いした時など、温かく優しい笑顔で話しかけてくださった荻野さんにもうお会いできないと思うと、寂しい気持ちでいっぱいです。

長い間ありがとうございました。どうぞ天国でゆっくりお休みください。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

すすむ駅舎の

バリアフリー



事務局長

妻屋 明

公共交通機関のバリアフリー化は、私たち移動制約者が最も強く求める問題として、全脊連ではこれまで長い間運動を継続してきた。

交通バリアフリー法に基づき、国が定める基本方針で一日当たりの利用者数が五千人以上の鉄道駅、バスターミナル等の旅客施設について、エレベーター設置等の段差の解消や障害者用トイレの設置などのバリアフリー化を、平成二十二年までに全ての施設について実施することを目標としている。

しかし、現状はどうかというと段差の解消では、鉄道駅で四十三・九%、でしかなくノンステップバスの普及については、十%程度に過ぎない。平成二十二年までの目標でも二十%から二十五%というお寒い状況だ。

車いす使用者の外出は専ら自動車という時代から、いよいよ電車やバスを利用することができるといえる時代になる、というのはいさし先になりそう。

そんな中で、私が住んでいる最寄りの相鉄線の瀬谷駅にエレベーターや障害者用トイレが設置されるなど、バリアフリー化されたと聞き、相鉄線のバリアフリー化状況を調べてみた。

相鉄線のバリアフリー化

相鉄線（相模鉄道）は、横浜から海老名駅までと、二俣川からいずみ野線、湘南台駅までの間に二十五駅あり、主に通勤客や横浜駅周辺の買い物客などが利用している。

いずみ野線のゆめが丘駅を除いて全ての駅は、一日五千人以上が利用しているという。相鉄線は、平成二十年三月までに全駅バリアフリー化する予定だが、現在までにバリアフリー化された駅は、全線二十五駅のうち、エレベーターの設置で段差が解消されているのが十二駅。また、車いす対応のエスカレーターやスロープによって段差が解消されているのは八駅で計二十駅となっている。





この結果、相鉄線のバリアフリー化率は八十%で東急東横線の九十・五%には及ばなかったものの、比較的バリアフリー化が進んでいると言える。

また、現在バリアフリー化されていない駅は、西横浜駅、平沼橋駅、天王町駅と星川駅の四駅で、今後高架工事が予定されている。

また、終点の海老名駅についても大規模な改修工事が予定されているため、これらの駅のバリアフリー化は当分先になりそうだ。

瀬谷駅のバリアフリー

さて、我が家に最も近い駅である瀬谷駅は、これまで車いすでは全く利用できない構造になっていたが、今回の改造でようやく車いすで普通に利用できる駅に出来上がっていた。

新しく改修された瀬谷駅には、エレベーターが四基と二・二m四方の多目的トイレが一カ所、また、車いす使用者が利用できる券売機も新設されていた。

乗車経路のバリアフリーは、南口と北口からそれぞれエレベーターを利用して、高架上の改札口へとむかい、改札口から上り、下りの各プラットホームへの経路にはそれぞれエレベーターが設置されている。ホームに降りると、車いす使用者は必ず車掌室の前に乗車することになっているため、乗車位置である電車の最後部までホーム上を移動することになる。



また、電車とホームの隙間と段差は、駅員の誘導により、渡り板(デッキパック)を利用して乗車するから安心だ。

多目的トイレは、高校生がオストメイト設備のお湯を使い身体を拭くなどのいたずらをする(相鉄側の言い分)ため鍵が掛けられている。利用する際は駅員に声をかける必要がある。

ザンネーン!

今年も開催JAFとニッシン自動車の点検

恒例になっているJAFとニッシン自動車の点検が、十月十六日に神奈川県リハビリテーション病院の駐車場で行われました。当日は肌寒い日でしたが、四十八台の車の点検が行われました。

私たち障害者にとって車は必要不可欠なものです。手動式の点検は車のディーラーではやってもらえないため、一年に一回のニッシン自動車の無料点検は貴重です。JAFのオイル交換も一般のガソリンスタンドと比較するとはるかに安いものです。

点検は「まだ大丈夫かな？」と思ってもニッシンさんが気がついてくれるようなこともありますので、年に一回の点検無駄にしないようにしましょう。



寒い中受付ごころさま！



点検風景

車いすでも社会に貢献できる！

共同募金活動に三力所で参加

十月一日から毎年共同募金が始まります。今年も支部では横浜駅頭、厚木駅頭、相模原市役所、の三箇所にて募金活動を行いました。

毎年、横浜では十月一日西口駅前で神奈川県知事、横浜市長等々が出席してセレモニーが行われますが、横浜市消防隊のブラスパンドがそれに花を添えます。

今年は松沢知事が初めて参加され、私たち車いすが募金活動を行っているのをご覧になりびっくりされていました。この活動は十四、十五年続けていますが、まだまだ

そういう認識の人が多
いように思
います。
車いすでも
できること
とはあるの
だというこ
とを社会に
示すために
も、この活
動を続ける
ことは意味
のあること
でしょう。



右手前・松沢知事 後・中田市長と

<路川みどりさんテレビ出演決定!>

県央協会の路川みどりさんが、NHK教育テレビの「みんな生きている」に出演します。(11:00~11:15・1月24日、27日、31日、2月3日)

この番組は、体に障害のある人のために働く犬と、どのように互いの心を通わせ支えあっていくか、生きている人と動物との絆について考えています。

ロード君(犬)とみどりさんの生活ぶりを皆さん見てくださいね。

会員動向

(新入会員)

花谷 哲次 (川崎協会)

川崎市高津区溝口6丁目
10・11・302

喜納 勇

横浜市都筑区南山田3・22
18・C・102

小野 森雄 (県央協会)

東京都板橋区稲荷台3・2

(住所変更)

井沢 茂

愛甲郡愛川町中津
1943・83

(亡くなられた方)

荻野 昭二

平成十六年九月十一日

高根沢 俊伍

平成十六年十二月二十四日

編集後記

皆さんNHK朝の連続ドラマ「わかば」を見たことがありますか？

その中でお祖母ちゃんが、「人生・生きちよるだけで丸儲け」と言っています。さすが、本当にそう思いませんか？ 事故や災害にあい重度障害者に認定されれば、生命保険は死亡補償金相当額がおります。私達はその時点で一度死に、また新しい生命をいただいたのだと思います。

障害があり生きていくのは大変ですが、連合会を始め諸先輩の皆様方のおかげで、障害者にも暮らしやすい環境が整ってきています。辛い時もあります。すが、楽しい事もたくさんあります。私たちは、生かされているのではありません、生きているのです。残された時間はどれ程か知る由もありませんが、明るく楽しく元気に生きていきましよう。

支部でもいろいろ計画し活動していきますので、一度参加してみてください。いろいろな交流や出会いがあり、とても楽しく勉強にもなります。(大)

人とともに、 車とともに…。

自由に気軽にラクラクおでかけ、
ちょっと遠出もしたくなる。
そんな快適なカーライフをお届けするために、
ニッサン自動車グループは歩み続けます。



GO TO DRIVE TOGETHER

APドライブ



オートスピーコン



オートボックス



オートリフト



手動式運転装置、運転補助装置、車椅子の収納装置、リフト、介護車両、マイセルフ、タクシー等、全国をトータルにサポート致します。お気軽にお問合せ下さい。

福祉車両総合メーカー 株式会社ニッサン自動車工業
〒349-1148 埼玉県北埼玉郡大利根町豊野台1-563-12 E-mail jikou@nissin-apd.co.jp
TEL.0480-72-7221 FAX.0480-72-7223 URL http://nissin-apd.co.jp

株式会社ニッサン特装(リフト事業部)

〒347-0010 埼玉県加須市大森1-17-2 E-mail tokuseo@nissin-apd.co.jp
TEL.0480-67-1414 FAX.0480-67-1424

NISSIN JIDOSHA GROUP